

G7-11  
0-  
19

昭和二十七年五月

# 岐阜縣水産試験場の概況

## 岐阜縣水産試験場

岐阜縣水産試験場  
 昭和二十七年七月十五日  
 岐阜縣水産試験場

21

# 概要の目次

一	沿革	一頁
二	方針	一頁
三	組織機構	二頁
	(1) 県の所管部課	
	(2) 業務分掌	
	(3) 職員組織	
四	経費	二頁
五	施設及び設備	三頁
	(1) 敷地建物	
	(2) 配置略図	
	(3) 試験池、養成池及び附帯設備	
	(4) 研究設備及び備品内容	
六	事業の概況	五頁
一	調査研究指導に関する事業	五頁
	(1) 活魚輸送に於ける酸素適量試験	
	(2) 番魚の分布調査と食性試験	
	(3) 魚病調査並に指導	
	(4) 農村養魚の振興普及強化指導	
	(5) 鮎放流効果委託試験	
二	増殖に関する事業	六頁
	(1) 鱒増殖	
	(2) 鯉増殖	
	(3) 鮎増殖	
	(4) 金魚増殖	
	(5) 鱉増殖	
	(6) 食用蛙増殖	
七	改修工事の概要	九頁

(4) 金魚増殖  
(5) 蟹増殖  
(6) 食用蛙増殖

七 改修工事の概要

# 一 沿革

大正十二年六月十日

農商務省、岐阜県及大垣市の援助を得て水力電気業者の率先経費拠出により、県水産会が安八郡安井村大字禾の森字中繩に水産増殖試験場として開設

昭和三年十二月五日

安八郡安井村大字江崎字濱池に移転

昭和十年四月二十日

養成池及付帯水路改造改修工事着工昭和十一年一月十日竣工

昭和十四年四月二十七日

排水路修繕及樋管新設工事着工今年六月十四日竣工

昭和十九年

県水産業会より県水産業会に移管

昭和二十四年

水産業校同組合法に依り岐阜県漁業校同組合連合会に移管

昭和二十七年二月

養成池付帯水路、深井戸、事務所、孵化室改修工事着工（三ヶ年計画）

昭和二十七年四月八日

解となり県に移管、岐阜県水産試験場と称す

# 二 方針

(一) 本県に於ける水産振興の基盤となる各種試験研究調査並に技術の指導をなし之が適確な普及を図り合理的な生産指導を行う。

(二) 県下各内水面に放流或は放養する有用水族の種苗を生産配給し内水面漁業の振興を図る。

# 三 組織機構

(1) 県の所管部課 岐阜県農林部食糧水産課  
業務分掌

係長	業務内容	主任技師	副主任技師	職員	備考
庶務會計係	庶務會計に關する一切の事項	一	一	一	備人の内二名は常備人夫 (女一名) 男一名
調査研究係	各種試験調査研究に關する事項		(一)	(一)	
増殖係	各種有用水族の種苗の生産養成に關する事項		(一)	(二)	
指導係	増殖技術並に事業の普及指導に關する事項		(一)	(三)	
合計		一	(三)	(七)	

註 (一)内は兼務

(3)

## 職員組織

氏名	年令	学位	勤続年数	本籍地現住所	業務分掌
場長 小杉 泰一	37才	函館高水卒	〇年二月	新潟県大垣市	場長・指導係長・調査研究係長
主事 矢橋 文雄	36	愛知芸記卒	〇年二月	岐阜県赤坂町	庶務會計係長
技師 石井 重男	25	郡上農林卒	八・四	岐阜県大垣市	増殖係長・調査研究・指導係
助手 高橋 一美	37	大垣商業卒	一七・一	岐阜県大垣市	増殖調査研究・指導係
備人 篠田 昭次	23	郡上農林卒	五・一	岐阜県大垣市	増殖指導係
常備人 曾我 良美	22	郡上高校卒	四・二	岐阜県大垣市	増殖調査係
常備人 濱口 和	19	大垣北高卒	〇年一月	岐阜県大垣市	庶務會計係

## 四 経費

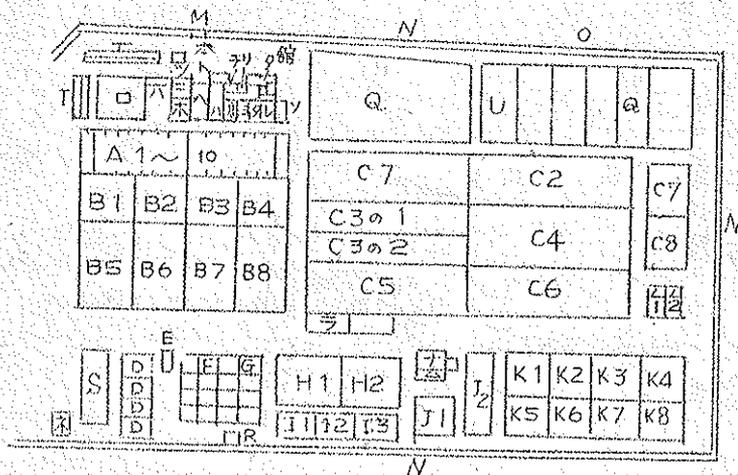
原目	昭和廿七年度予算額	昭和廿六年度予算額	比較増△減	備考
水産試験場費	五七一九〇〇〇円	二七一八二〇〇円	三〇〇〇八〇〇円	

(一) 水試調査費	一七一九〇〇〇	一三一八二〇〇	四〇〇八〇〇	但し
泉費	七〇〇〇〇〇	五〇三二〇〇	一九六八〇〇	職員の手給諸手当
雑収入	一〇一九〇〇〇	八一五〇〇〇	二〇四〇〇〇	等應費を含む
(二) 増殖費	四〇〇〇〇〇〇	一四〇〇〇〇〇	二六〇〇〇〇〇	

(1) 敷地・建物

算名	名称	坪数	棟数	種類	工年	備考
敷地	敷地	10.271坪				
木舎	木舎	96	1	木造五層 事務所	昭和3年	
浮化室	浮化室	55	1	"	"	
試験室	試験室	19	1	"	"	
舎	舎	17	1	"	"	
舎	舎	13	1	"	昭和25年	
舎	舎	18	1	"	"	

(2) 配置略図



凡例

- |             |         |
|-------------|---------|
| A 鱒類稚魚飼育池   | □ 浮化室   |
| B 同二才魚以上飼育池 | ○ 八二木ハト |
| C 鯉飼養成池     | ト 子リ又ワ  |
| D 金魚飼育池     | 力 ヲ     |
| E 貯水池       | タ       |
| F 鯉浮化池      | ソ       |
| G 鯉産卵池      | ツ       |
| H 鯉飼育池      | ネ       |
| I 鯉飼育池      | ナ       |
| J 鯉養成池      | ラム      |
| K 親鯉養成池     |         |
| L 流水養鯉池     |         |
| M 正門        |         |
| N 外處        |         |
| O 用水路       |         |
| Q 鯉福田養魚試験池  |         |
| S 鱒類稚魚飼育池   |         |
| R 温床池       |         |
| U 鯉仔飼育池     |         |
| T 鱒類稚魚飼育池   |         |

五 施設及び設備

国庫	官費	雑収入	泉	水試調査費
二〇〇〇〇〇〇〇	二〇〇〇〇〇〇〇	四〇〇〇〇〇〇〇	一〇一〇〇〇〇〇	一七一〇〇〇〇〇
八〇〇〇〇〇〇〇	六〇〇〇〇〇〇〇	一四〇〇〇〇〇〇〇	八一五〇〇〇〇	一三二一八二〇〇〇
二二〇〇〇〇〇〇〇	一四〇〇〇〇〇〇〇	二六〇〇〇〇〇〇〇	二〇四〇〇〇〇〇	四〇〇〇六〇〇〇

但し 職員の手給諸手当等歳費を含ませ

水産試験場費	昭和三十七年度予算額	昭和三十六年度予算額	比較増△減	備考
	五七一〇〇〇〇〇円	二七一八二〇〇〇円	三〇〇〇八〇〇〇円	

# 六 事業の概況

(1) 調査、研究、指導に用いる事業  
 活魚輸送の科学的、経済的合理化を図らんが爲に酸素分岐器による使用酸素の量を測定する各種装置

## (3) 試験池、養成池及びその附帯設備

名称	種類	個数	坪数	備考
養魚池		83面	4.985坪	総水面積
	冷水性	28 "	1.112 "	別紙略図参照
	温水性	55 "	3.873 "	〃
湧水井戸		58本		
	深井戸	12 "		
	浅井戸	46 "		

## (4) 研究設備及び備品内容

分類	名称	数量	備考
I 一般的なものの	電動機	2	3馬力モーター
	排水ポンプ	1	ヒューカルみのくち式口径6吋
	発動機	1	クボタ式 5馬力
2 研究のためのもの	生物学研究用顕微鏡	2	
	解剖顕微鏡	2	
	解剖器	1	1式
	遠心分離器	1	
3 化学分析用	空気乾燥器	1	
	水蒸気乾燥器	1	
	三角炉	1	
	化学用薬品		
	化学用実験器具		

(3) 試験

名
養
場

(4) 研究計

1 全般的なもの
2 研究のためのもの
3 化学分析用

## 六 事業の概況

一、調査・研究・指導に因する事業

- (1) 活魚輸送に於ける酸素使適量試験  
活魚輸送の科学的、経済的合理化を図らんが爲酸素分散器による使用酸素の適量に関する各種基礎的試験研究。
- (2) 番魚の分布調査と食性試験  
県下各地に繁殖して行く番魚の分布状況と併せてその食性を調査研究して之が有害に対する防除と有用化元に資せんとする。
- (3) 魚病調査並びに指導  
養魚者の要請により各地の養魚池に於ける罹病魚、斃死魚の原因を調査し、之が予防並びに治療に於ける指導をする。
- (4) 農村養魚の振興普及強化指導  
農村の副業としての水田養魚、並びに池池養魚の技術的指導を図り、亦捕獲の成績、処理についても究明し飛躍的増産普及を図らんとする。
- (5) 鮎放流効果委託試験  
淡水区水産研究所の試験委託費の交付と指導を仰ぎ飛弾川水系佐見川を遡定し、(1)鮎放流の効果確認、(2)生産可能の限界及びその組合の増殖能力の限度判定の資料を求め、(3)出来得れば組合の放流事業を自営強化せしむるための育成指導の方向を見出さんと、輸送、放流、漁獲試験、生物学的調査等の試験調査





(4) 金魚養殖

養殖種類	使用池	面積	収容能力		販売能力		備考
			現在	修理后比較	現在	修理后比較	
二才魚	D池 34	二四〇	三〇〇	四〇〇〇	三七〇〇	一五〇〇	一尾一〇外
当才魚	D池 12	二四〇	一〇〇〇〇尾	三五〇〇〇尾	三五〇〇〇尾	八〇〇〇〇尾	一尾一外
孵化	こい ふな 飼育池	二〇坪	三〇〇〇〇粒	一〇〇〇〇〇粒	七〇〇〇〇粒		

(5) 鱈養殖

養殖事業	使用池	面積	収容能力		販売能力		備考
			現在	修理后比較	現在	修理后比較	
租養養成	I池 3	四二〇		二四〇〇	二四〇〇	一〇〇〇	
養鱈事業	I池 12	八四〇坪	一〇頭	四八〇	三八〇		

(6) 食用鱈養殖

養殖種類	使用池	面積	収容能力		販売能力		備考
			現在	修理后比較	現在	修理后比較	
成鱈	丁池	二二〇坪		一五〇〇	一五〇〇	一〇〇〇	
幼鱈	丁池		三〇〇〇〇尾	三〇〇〇〇	三〇〇〇〇	一〇〇〇〇	

# 七 改修工事の概要

総額 一、八二五〇〇〇円

第一期工事（昭和二十六年完了）

井戸、孵化室、鱈稚魚飼育池、事務室、実験室、標本室、

二六〇〇、〇〇〇円

鱒	池							
鱒	池							
丁	池							
				三〇〇〇〇〇〇	尾			
				三〇〇〇〇〇〇	〃			
						一〇〇〇〇〇〇	尾	
						一〇〇〇〇〇〇	〃	

# 七 改修工事の概要

総額 一八二五〇〇〇円

第一期工事 (昭和二十六年年度完了)

井戸、孵化室、鱒稚魚飼育池、事務室、実験室、標本室、

二六〇〇〇〇〇円

第二期工事 (昭和二十七年年度)

井戸、鱒飼育池、調飼室移築、鯉耐孵化池、親魚養成池、鱈池、

四〇〇〇〇〇〇円

第三期工事 (昭和二十八年年度)

鱒稚魚飼育池、飼料器具、倉庫、鱒孵化設備改修、鯉耐稚魚飼育池、宿舎

五七六五〇〇〇円